

茨木市民憲章

わたしたち 茨木市民は

- 一、心をあわせて
- 一、あすの力をそだてましよう
- 一、仕事にはげんで
- 一、明るい家庭をまっすきましよう
- 一、環境をととのえて
- 一、美しいまちをつくりましよう
- 一、さまりをまっせつて
- 一、良い風習をひろめましよう
- 一、教養をふかめて
- 一、みんなの文化をたかめましよう

電話:620-1604(ダイヤルイン) FAX:620-1715 E-mail:community@city.ibaraki.lg.jp



副会長のあいさつ

**令和5年度
定期総会開催**

1 開会
2 市民憲章唱和
3 副会長あいさつ
4 来賓祝辞
5 議事
議案第1号 令和4年度事業報告 原案どおり承認
議案第2号 令和4年度決算報告 原案どおり承認
議案第3号 監査報告
議案第4号 役員改選 西川新会長就任
議案第5号 令和5年度事業計画 原案どおり承認
議案第6号 令和5年度予算 原案どおり承認
6 表彰状贈呈
7 講演会
テーマ「安威川ダムとダムパークいばきた」
講師 茨木市都市整備部北部整備推進課
課長代理 柴田 昌和氏
8 閉会

出席者は熱心に話を聞いておられました。

住みよいまちづくり協議会前会長 森本眞二氏が令和5年4月4日にご逝去されました。ここに心から哀悼の意を表すとともに謹んでお悔やみ申し上げます。

[illegible]

定期総会講演会

テーマ 「安威川ダムとダムパークいばきた」

講演 茨木市都市整備部北部整備推進課 課長代理 柴田 昌和氏



安威川ダム事業の主な経緯は、大阪府が昭和42年の北摂豪雨災害を契機に、安威川の治水対策として河川改修とダムを建設する構想を立案し、その後、ダム計画地の地元地区の皆さまと交渉を重ねて、ご理解とご協力を得たうえで、水没家屋等の代替地への移転や府道の付替え等を平成19年までかけて実施してまいりました。平成26年からは、いよいよダム本体工事に着手し、令和4年5月には工事を完了し、令和4年9月からダム試験湛水を開始しています。安威川ダムは100年に一度の確率で降る大雨の一部を貯留し、茨木市のみならず、高槻市、摂津市、吹田市、大阪市の一部を河川の洪水リスクから守る施設です。

これからダムの運用が始まりますが、そのダムの横では、茨木市が「ダムパークいばきた」と公募で名前を決定した公園を整備していきます。この公園は、地域の少子高齢化に起因する課題もありながら、魅力ある施設や自然の多い市北部地域(いばきた)に、多くの人が集まりやすい場を作り、賑わいを創出する事で、地域の課題解決に役立てようとしています。その仕掛けとしては、民間事業者が整備・運営を行う公園施設を整備する事であり、ダム湖の上空には歩行者専用として日本最長の420mとなる吊り橋や、湖面では水上アクティビティ等ができるよう計画をしています。また、いばきたを活性化させるためのエリアマネジメント活動が公園を拠点に行われるよう、公園ができる前からワークショップを行って、マルシェや体験プログラムを実施していただく活動者を集めており、それらの活動が、公園のみならず、将来にはいばきた全体の活性化に繋がるような取り組みにしていきたいです。

茨木市住みよいまちづくり協議会 令和5年度重点実践項目

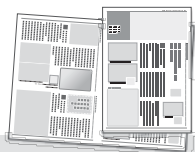
1. 住みよいまちづくりを目指し 市民憲章の周知と実践に努めよう
2. 地域環境を大切にして 花と緑をいっぱいにしよう
3. 安全・安心な まちづくりを 推進しよう
4. 教養をふかめて 温かい心で交流しよう
5. 郷土の伝統や文化財を 大切にしよう



部会 主な取り組み

総務部会

- 市民憲章唱和の推進
- 機関紙「まちづくりの友」の発行
- 広報活動用掲示板の配布など



風習部会

- 迷惑駐車防止用ビラの配布
- 安全・安心まちづくりの日キャンペーン等の実施
- 自転車運転マナー啓発活動の推進



環境部会

- 市内一斉清掃の実施及び参加拡大
- 清掃活動補助制度の実施
- 清掃用ロゴ入りごみ袋の作成
- 草花苗の配布等



茨木市で高齢者に対する還付金詐欺被害が急増中!!

還付金詐欺を含めた特殊詐欺の被害が多発しています。
不審な電話があれば、一度電話を切り、家族・警察に相談を



くらしの中の 花いっぱいコンクール

市民生活に身近な善行活動として、地域内の美化や緑化の推進など、住みよいまちづくりに向け、他の模範となるべき奉仕活動を実践されている方々に、その尊い行為を讃え表彰状をお贈りしました。受賞された皆さまは次の方々です。



表彰者

✿ 太田垣 ルリ 様 ✿ 大橋 哲 様 ✿ 花園東和苑 環境部 様



太田垣 ルリ 様



大橋 哲 様



花園東和苑 環境部 様

「くらしの中の花いっぱいコンクール」募集中!

皆さんの自宅や、近所の玄関先等を花でいっぱいにし、道行く人をなごませているお宅はありませんか。

応募
方法

自薦他薦は問いませんので、推薦者・被推薦者のご連絡先、写真等を添えて事務局までご提出ください。

一年を通して花でいっぱいにしていること

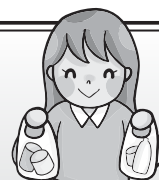
道路等に出ていないこと

外から見て花がいっぱいになっているのが見えること

実地調査後、環境部会で審査し、優秀事例を決定します。

また、本協議会の5月の定期総会にて表彰いたします。皆さまのご応募をお待ちしております。

お出かけの季節 思い出と一緒にごみを持ち帰りましょう。
環境をととのえて美しいまちをつくりましょう。



善行者・善行団体表彰

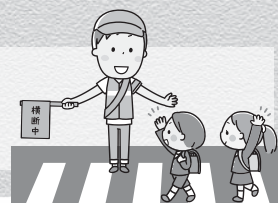


荒井 勝彦 様
堤 一男 様
武藤 キヨミ 様



堤 一男 様

長年にわたり、水尾小学校の子ども安全見守り隊をされ、その後、自転車で校区内をパトロールされています。



西川新会長あいさつ

このたび、茨木市住みよいまちづくり協議会の会長に就任いたしました西川でございます。

前会長の退任が突然のことでしたが、このたび会長の任をお受けすることになりました。このような大役で責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

本協議会は、茨木市の健全な発展と住みよいまちづくりのために、市民憲章の活動項目を実践する団体として多くの活動を行ってまいりました。

今後も、住みよいまちづくり協議会としての取組をより一層進めて参りたいと思いますので、本協議会へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

清掃活動補助をご利用ください

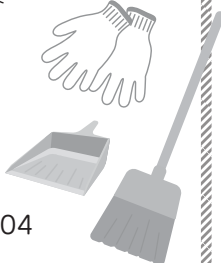
茨木市住みよいまちづくり協議会では、構成団体等が実施する清掃活動に伴う清掃用具の購入に対し、補助金を交付しています。

◆補助対象…購入した清掃用具(ゴミ袋、軍手、ほうきなど)の経費の2分の1(限度額5千円)を年1回請求することができます。 ※草刈り機、脚立等は対象外

◆請求方法…所定の用紙に必要事項を記入し、購入したものの内訳がわかる領収書(レシート可)を添付して事務局まで提出してください。

◆申請・請求先…事務局

市・地域コミュニティ課 TEL 620-1604



美化活動ベストをご利用ください

市では、美化活動を定期的に実践している方に対して、美化活動ベストを貸与しています。美化活動の安全な推進と、環境美化意識を高めるためにご利用ください。

◆貸与対象…地域の公共的な場所の美化活動を定期的に実践している市内在住・在勤・在学者及び市内に活動拠点を有する団体等

◆貸与内容…ベスト

※大きめのサイズ(XL)をご用意しております。

◆備考…枚数制限あり

◆申請先

市・地域コミュニティ課 TEL 620-1604



年末市内一斉清掃用ゴミ袋等の協賛金を募集しております

昨年度は、29団体・企業に協賛金のご協力をいただきました。ゴミ袋は、市内一斉清掃に参加していただきました自治会、老人クラブへ配布しました。協賛金のお申し込みは事務局までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

事務局 市・地域コミュニティ課 TEL 620-1604



早稲田摂陵高校ボランティア部 清掃ボランティアで地域貢献

茨木市の彩都で清掃ボランティア活動をしている早稲田摂陵高校ボランティア部のみなさんにインタビューしてきました。

早稲田摂陵高校ボランティア部 (W.S.Glocalist)
Glocalist=Global+local の造語

質問 茨木市の彩都で清掃ボランティア活動を行おうと思われたきっかけは？

自分たちから何かできることはないか、地球規模に物事を考え、地域や社会に貢献することを目指している。

地域のためになり、お金のかからない簡単に始められることは何かと話し合い、彩都の街をフィールドワークしたところ、思った以上にゴミが落ちていることに気づき、学校内でメンバーを募り、清掃活動を始めた。

質問 学生さんのメンバーは、何人くらいの方が所属・活動されているのですか？

- ・ボランティア部所属人数：10人～20人
- ・清掃ボランティア参加人数：有志とラグビー部員を含めて30人

質問 学生さんが思う、今回の活動の魅力は？

自分たちで地元の街をきれいにしようとする意識が芽生える。活動を行う中で、マスクなど今までにはなかったゴミを発見することが多く、環境問題を自らが気づくことができる。

軽い気持ちで始めたが、参加して地域のためになっているのかなと感じ、学生のうちから活動することで将来的に社会に還元されて自分たちに返ってくるのかなと感じた。

質問 今後の意気込み 今後の活動 今後の展望

将来、留学した先などでも社会貢献できたらいいと思い、部・個人としても社会貢献していきたい。私たちの経験を色々な形で広めたい。

皆が楽しんで、好きなことを活動とし、皆のやりたいを1つでも叶えていきたい。

清掃活動は月に1回のペースで活動できたらいいな。



～取材者 追手門学院大学 田邊さんからのコメント～

今回の取材を通して印象に残っている点は、ゴミを拾うことが清掃をするという1つの意味だけではないということを強く感じさせられました。活動のきっかけにある、地球規模に物事を考え、地域や社会に貢献することにあるように、清掃活動を立案から実施まで学生の皆さんが考えて行うことで、地球と地域に向き合っているものがありました。

また、学生の皆さんが茨木市内で、このような活動が行われている姿は非常に魅力的でした。



ボランティア部のみなさんと顧問山野井先生
(左から順に青木さん・平本さん・取材をしていただいた田邊さん・千家さん・山口さん)

茨木の鬼を巡る二つのおはなし

当会会計 平松 克一

茨木に新しい文化・子育て複合施設が今秋に完成し一部が開業する予定ですが、施設の名称を市民公募した結果「おにクル」に決定。鬼も楽しそうで来なくなる施設というスタンスで市民にPRが行われていますが、そもそも茨木と「鬼」とはどんな関わりがあるかを紐解いてみますと面白い事に二つの伝説的な事柄に出会います。

その一つが①「捨て子伝説」です。このお話は昔水尾村に住んでいた百姓夫婦に元気な男の子が生まれますが、母親の腹に十月十日以上いたため生まれてすぐに母親は難産で亡くなり、父親の手で育てるも近所の年上の子どもを泣かしたりやんちゃが過ぎて父親もほとんど困り、近所の髪結い屋さんの店先に捨てるのです。引き取った髪結い屋の主人は髪結いの見習いとして、剃刀での剃りを教えるが、ある日過ぎて客の頬を剃刀で傷つけてしまいます。主人に叱られるのを恐れ、指先で血を拭い舐めてごまかすのですが、この血の妙に生暖かくて塩っぱい味が気に入り、それ以降頻繁にわざと傷つけ舐めることしばしばに及び、ついには主人から追い出され丹波の大江山に逃げ込むのです。

そこには多くの鬼がいて大將が**酒吞童子**で茨木から逃げ込んだ子どもは鬼の集団で頭角を表し、**茨木童子**と呼ばれ、副頭まで出世したと云われている。この鬼集団は夜な夜な京の金持ちの蔵を襲い金品を貧しい庶民にも振舞った優しい鬼と云われているのが、鎌倉時代に生まれた伝説「いばらきのおに」で歌舞伎でもとりあげられて全国的に有名になったのです。

次は二つ目の根拠説は②「**多々良伝説**」と呼ばれるもので初代**神武天皇**のお妃が茨木の人で、名前は「**姫多々良五十鈴姫**」また二代目**綏靖天皇**のお妃は五十鈴姫の妹の「**姫多々良五十鈴依姫**」とされており、二人の名前の中に「**多々良**」という言葉が入っています。

この**多々良**の意味は**製鉄所**といわれており、二人は製鉄所の娘ではと推量されるのです。

昔から安威川や淀川の川底の砂には砂鉄が多く含まれており、特に葦の根っこの泥には不思議に砂鉄が多く、この砂鉄を木炭を燃料に鞆(ふいご)で空気を送り、三日三晩800度の高温で砂鉄を溶かして製鉄を行っていたと伝えられ、温度調整をするために炉の火口を覗いている職人たちの顔はその灼熱のため鬼のように真っ赤になり、ふんどし一つでの体も筋骨隆々で軽い火傷のように赤くなり、さながら鬼のような形相であったと思われるのです。

この二つの説が今日まで茨木のシンボルとして「**鬼**」が全国的に広がったということで捨て子の茨木童子も多々良の鬼もどこか憎めない鬼だと思いませんか。



「せっつむかしばなし
いばらきのおに」より



「炉」(鉄を取り出す際に本来は破壊する)



たたら製鉄における踏み鞆による送風作業